

南草津エリアまちづくり推進ビジョン（みなくさビジョン）

策定方針

1. 策定の主旨・背景

本市の都市核である南草津駅およびその周辺エリアについては、駅開業や立命館大学びわこ・くさつキャンパスの開学を契機として、土地区画整理事業等による市街化の進展に併せて、世代を越えて多くの方々が交流する活力ある都市として発展を遂げてきたところです。

一方で、交通渋滞の慢性化や、既存の地域資源や公共施設の連携や活用が不十分であること、さらには、滋賀県南部の玄関口となり得る草津田上ICや草津PA等の地理的優位性が十分に活かし切れていない等、まちづくり上の課題が見受けられる状況にあります。

そこで、駅周辺とその周囲の地域も含めた南草津エリア（6学区【志津南・矢倉・玉川・南笠東・老上・老上西】）を設定し、南草津エリア内の現状と課題を整理するとともに、長期的視点に立った将来像やその実現に向けた方策等を取りまとめる南草津エリアまちづくり推進ビジョン（以下「みなくさビジョン」という。）を策定します。

2. ビジョンの位置付けと目標年次

みなくさビジョンについては、図1「南草津エリアまちづくり推進ビジョン(みなくさビジョン)位置付け」に示すように第6次草津市総合計画や次期草津市都市計画マスタープランに定めるまちづくりの方向性のもとで、既に取り組んでいる中心市街地活性化基本計画（第2期）や草津市版地域再生計画とも連携しながら、本市の総合的なまちづくりを推進するとともに、本市における将来の人口減少局面を視野に入れた中で、南草津エリアの活力や魅力をより一層高めていくため、10年後を目標年次として設定し、取り組むものとします。

目標年次：令和12年（2030年）

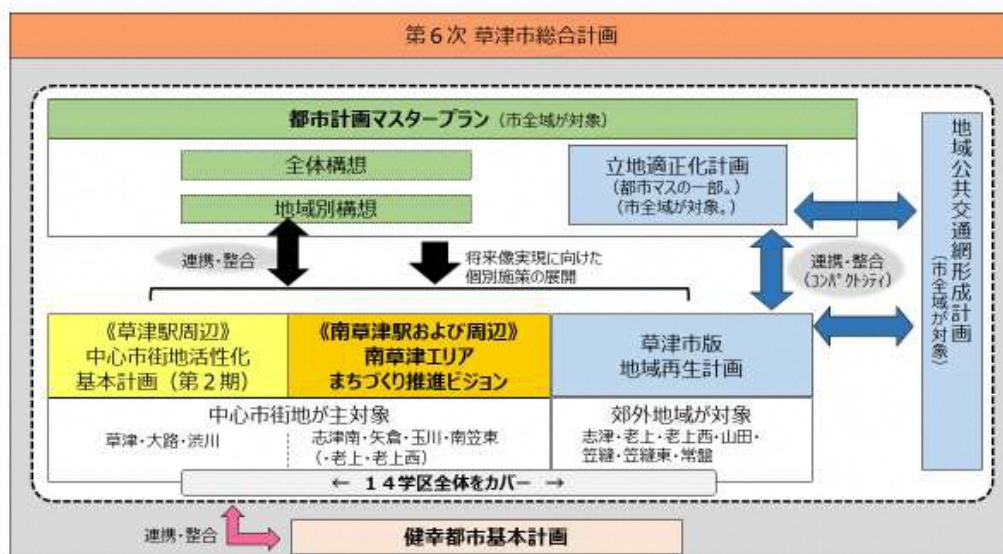


図1 南草津エリアまちづくり推進ビジョン(みなくさビジョン)の位置付け

3. 策定にあたっての視点

(1) 大学のあるまちづくり

大学の存在感を最大限に発揮してまちの新たな魅力や価値の創造につなげる『大学のあるまちづくり』の視点を織り込んでいくとともに、大学のある都市としての利点をさらに活かしていくために、対象エリア全体にわたり大学生等が学び、集い、活躍するオフキャンパスとしての空間づくりの視点を踏まえたビジョンの策定に取り組みます。

(2) 世代を越えた交流の創造

現在の世代を越えて多くの方々が交流する都市をさらに活かしていくために、若者・子育て世代や高齢者等の様々な世代の人々が集い、支え合う幅広い市民交流や多文化交流の視点を踏まえたビジョンの策定に取り組みます。

(3) 滋賀県南部エリアの賑わいの創出

本市の交流研究福祉拠点核と位置付けている草津田上ICや草津PA、道路ネットワークが充実している地理的優位性を活かすとともに、市、県および関係機関で構成する「草津PAをはじめとするびわこ文化公園都市周辺エリアの活性化に向けた研究会」での議論を踏まえ、滋賀県南部の玄関口として位置付けられるエリアとしてのにぎわいの創出の視点を踏まえたビジョンの策定に取り組みます。

(4) 地域資源の活用や公共施設のあり方等

野路公園・小野山遺跡等の地域資源の活用や将来を見据えた公共施設のあり方等の視点を踏まえたビジョンの策定に取り組みます。

(5) JR南草津駅周辺における課題解決等

JR南草津駅周辺における防犯・防災、交通渋滞等の課題解決に向けた取組や駅前の施設等を活用した新たなにぎわいの創出の視点を踏まえたビジョンの策定に取り組みます。

4. 策定に向けた体制（図2参照）

(1) 南草津エリアまちづくり推進懇話会

産学公民連携のプラットフォームであるアーバンデザインセンターびわこ・くさつ（UDCBK）を窓口として、地域住民の代表者、学識経験者、民間事業者の代表者、公募市民の各委員で構成する「南草津エリアまちづくり推進懇話会」を開催して、南草津エリアのまちづくりの推進について懇話会形式で意見や助言等をいただきながら検討を進めます。

委員数：15名

開催数：5回程度

(2) 草津市都市計画マスタープラン策定委員会

土地利用等の方針に関する項目については、草津市都市計画マスタープランに位置付けることを想定しており、適宜、草津市都市計画マスタープラン策定委員会に報告します。

(3) 草津市都市計画審議会

まちづくりの将来像やその実現に向けた方策等について、必要に応じて草津市都市計画審議会に報告して助言をいただきます。

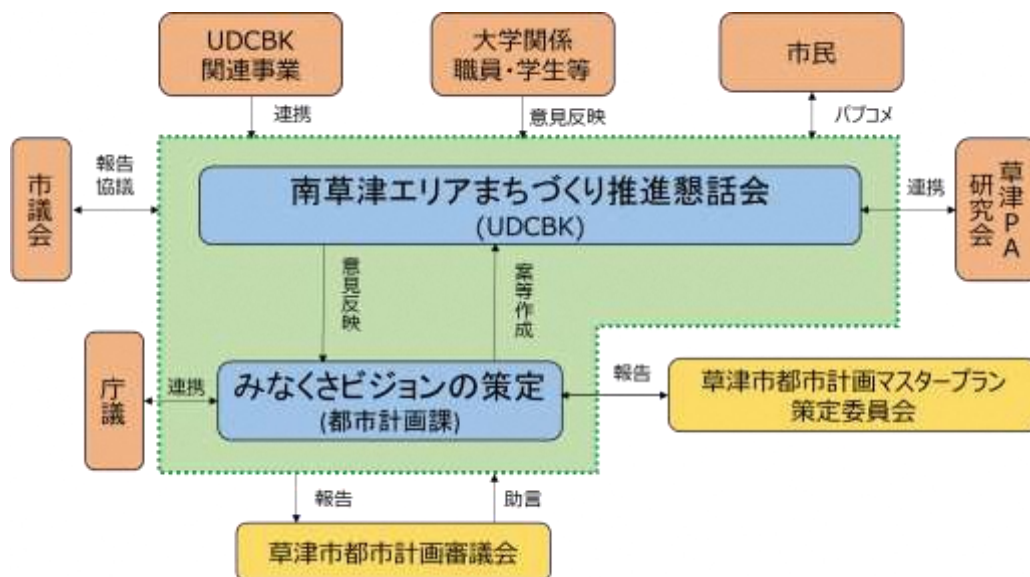


図2 南草津エリアまちづくり推進ビジョン(みなくさビジョン)策定体制

5. 市民参加の手法

南草津エリアまちづくり推進懇話会において、市民による公募委員を選任するとともに、パブリック・コメントを実施し、市民等の意見を反映させるよう努めます。

6. 策定スケジュール（予定）

- 令和2年5月 策定方針の決定
- 6月～ 懇話会の開催（5回程度）
- 令和3年1月～ パブリック・コメント実施
- 3月 ビジョン策定

※ 詳細は、別紙「南草津エリアまちづくり推進ビジョン（みなくさビジョン）策定スケジュール」を参照
※ 策定の進捗状況等により変更する場合があります。